

令和7年第2回瀬戸内町議会定例会
(令和7年6月17日開会)

一般質問通告一覧表

質 問 者
(通告順)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1〔8〕柳谷 昌臣 | 5〔7〕永井しずの |
| 2〔2〕里山 正樹 | 6〔1〕栄 克 人 |
| 3〔5〕中村 洋康 | 7〔9〕元井 直志 |
| 4〔3〕伊東さおり | 8〔6〕泰山 祐一 |

6月18日(木)午前9時30分～

通告1 質問者:柳谷 昌臣 議員

1. 農業振興について【町長】

- (1) 本町所有のビニールハウス数と所在地について伺います。
 - (2) 農業研修を終了された研修生のサポート体制について伺います。
 - (3) 新規就農者に対する国・県・町の補助事業について伺います。
- また、過去3年間の活用実績について伺います。

2. 商工業振興について【町長】

- (1) 起業家支援補助金制度の過去3年間の活用実績と、実績を踏まえた上での要項の見直しについて伺います。
- (2) 各事業所における高齢化・担い手不足等の後継者対策について伺います。

3. 交通対策について【町長】

- (1) 町内の交通弱者対策としてのライドシェア導入についての見解を伺います。

4. 子育て支援について【町長・教育長】

- (1) 本町においても支援が必要な子ども達が増加傾向にありますが、大島特別支援学校の分校もしくは分室の設置に対する見解を伺います。

通告2 質問者:里山 正樹 議員

1. 自動車・軽自動車の奄美ナンバー登録について【町長】

- (1) 瀬戸内町へ転入された方に対し、奄美ナンバーへの登録を周知・案内する取り組みを強化できないか伺います。特に住所変更手続きの際に軽自動車の登録変更についても丁寧に案内することが有効と考えますが、町の対応方針をお聞かせください。
- (2) 軽自動車は町税、普通自動車税は県税とされ、いずれも重要な財源です。奄美ナンバーへの変更が進むことで、町の税収増にもつながると考えられますが、町当局の見解を伺います。

2. 自衛隊官舎の整備と地域活性化について【町長】

- (1) 現在の陸上自衛隊官舎数は足りているのか、今後増設の計画はあるのか伺います。又、増設する場合には、阿木名集落のような大規模な一箇所集中ではなく、誘致を希望する集落に複数戸を分散して設置することを、防衛省と協議出来ないか伺います。
- (2) 集落ごとの官舎設置は、地域の活性化や人的資源の補完に寄与し、集落行事等を通し地域との交流や将来的な移住定住にも繋がると考えます。又、通園・通学における課題は、スクールバスやライドシェアの活用で対応可能ではないかと考えますが、町としての見解を伺

います。

3.農業振興（繁殖農家・サトウキビ農家）について【町長】

- (1) 黒毛和牛繁殖農家の増減推移（20 年前・15 年前・10 年前・5 年前・現在）について伺います。又、5 年後・10 年後における繁殖農家の見通しについて、町としてどのように捉えているのか見解を伺います。
- (2) 第 3 セクターで引き継がれた加計呂麻きび酢事業を活かすためにも、原料となるサトウキビの安定供給・増産が重要だと考えますが、町としての方針・考えを伺います。

6月18日（木）午後1時 30 分～

通告3 質問者：中村 洋康 議員

1.自家用有償旅客運送事業の実施について【町長】

令和6年度予算審査特別委員会の審査を下に、町議会の意見として、「本町の交通インフラとし、自家用有償旅客運送制度等を早急に検討され、住民の生活維持に努められたい」と申し入れたところであります。令和 6 年度及び令和7年度の鎌田町長の施政方針において、導入について検討すると述べられていますが、これまでの具体的な取り組み状況を伺います。

2.町直営事業及び第三セクターの運営について【町長】

- (1) 西古見 GATE の整備目的、整備事業費総額及び運営収支（見込み）について伺います。
- (2) チーム西方による持続可能なまちづくり事業（あらとんとんの館）の整備目的、整備事業費総額及び運営収支見込みについて伺います。
- (3) 奄美せとうち地域公社の設立目的、加計呂麻きび酢事業初期投資事業費総額及び運営収支見込みについて伺います。
- (4) 第三セクター「株式会社せとうちフェリー」の設立目的、出資金等初期投資費用総額及び経営収支見込みについて伺います。
- (5) 第三セクター「奄美アイランドドローン株式会社」の設立目的、出資金等初期投資費用総額及び経営収支について伺います。

通告4 質問者：伊東さおり 議員

1.かけろまきび酢村について【町長】

- (1) 「農業振興と活力あふれるさとうきび産業を創出するかけろまきびす村」構想に至ったキッカケと展望をお尋ねします。
- (2) 2025.3.31 に、瀬相のきび酢工場は「JA 奄美瀬戸内支所」から、瀬戸内町が出資する合同会社「奄美せとうち地域公社」へ譲渡された訳ですが、2022.9.29 日付の【きび酢村施設整備基本計画】概要版の計画から何も変更はないのかお尋ねします。
- (3) かけろまきび酢村が加計呂麻島や島民と、どれだけ密接な関わりになるのか施設の全貌を

お尋ねします。

- (4) それぞれのカテゴリーの従業員数は何名程予定されているのかお尋ねします。
- (5) 加計呂麻島の小中学校校の先生方は、古仁屋や名瀬から通っていらっしゃる方がほとんどであるが、きび酢村に従事なさる方もそういう形を取るのか？それとも加計呂麻島に集合住宅を作って住んで頂くのかお尋ねします。
- (6) 加計呂麻住民への情報公開や説明会はどのようなタイミングで いつ頃になるご予定なのかお尋ねします。

2. 離島地域子ども通院費等支援事業について【町長】

- (1) 令和 7 年度の町制運営に臨む基本的な考えと主要な施策(P.2)にあります、出産子育て支援の充実について「妊娠期から子育て期に至る切れ目ない子育て支援」「医療地域格差の是正について」とあるが、産婦人科・小児科がない加計呂麻地域の「妊娠期から子育てに至る」世代の経済的・精神的・肉体的ご苦勞を我が事・丸ごととしてお考えになられた事はあるのかお尋ねします。
- (2) 鹿児島県は離島地域出産支援事業に 2,164 千円の当初予算を組んでおり、我が瀬戸内町も、妊婦検診時のフェリー自動車航送送運賃無料等、交通費や宿泊費に大変手厚い助成をしてくださっている事に心から感謝致します。
さて、子育て支援に力を入れている我が鹿児島県は更に、前述した離島地域出産支援事業の約 14 倍以上の 30,833 千円の予算を取り、離島の子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、病院がなく島外の医療機関に通院する際の交通費等の助成を行う市町村に対して、費用の一部を助成する離島地域子ども通院費支援事業を今年度から実施しております。当事業を加計呂麻地域に一刻も早く活用して頂きたいのですが、当局の見解を伺います。

3. 加計呂麻地域島民 31 年間の悲願であるフェリーかけろま・せとなみの自動車航送運賃見直しについて【町長】

- (1) 軽自動車片道 3,130 円。往復 5,950 円の自動車航送運賃ですが、言わずもがなの厳しい自然環境の下、シーズン毎の大量の肥料や餌、大型の道具や工具が必要になる農業・畜産業・漁業従事者の皆様、並びにご祖先のお墓を守り 集落を守り細々と生活している少子高齢化真っ只中の加計呂麻地域島民にとりましては、異常な程 高額です。現行の自動車航送運賃はどのようにして算出されたのかお尋ねします。

《フェリーかけろまと天長フェリー比較》

※管内国庫補助航路一覧によると共に平成 27 年に離島国庫補助航路承認。

☆瀬戸内町フェリーかけろま

・古仁屋港～瀬相港約 6.8km 軽自動車片道 3,130 円

☆長島町天長フェリー

・諸浦港(長島町諸浦島)～片側港(獅子島)4.6km 1,860 円

・片側港(獅子島)～中田港(熊本県天草市) 8.1km 2,080 円

・更に過疎債ソフトを使い島民割引 20% が当てられ片道それぞれ 1,488 円、1,664

円である。

負担者：国・県・長島町(長島町は運賃割引にかかる負担のみ)…天草市からの支援一切ナシ

(2) 過疎債ソフトに加え、ふるさと納税⑥安心安全共生協働(地域課題の解決や住民ニーズに応える公共サービスの提供を目指す取り組み)のまちづくりに資する事業を当て、更に軽自動車の税金は町税となるので住民の住所は加計呂麻地域、車の住所は加計呂麻地域か瀬戸内町である事を条件とし、軽自動車税金を必然的に瀬戸内町に納めて貰う事で、自動車航送運賃島民割引は可能だと思われるが、当局の見解をお尋ねします。

(3) 観光客の車の利用が激減しているが当局の見解をお尋ねします。

一般質問の意図：※瀬戸内町は1956年(昭和31.9.1)に加計呂麻地区の実久村、鎮西村に古仁屋町、西方村が合併され瀬戸内町が発足しました。現「フェリーかけろま」は合併60周年に合わせ就航計画を進めたと新聞で読んだ記憶があります。来年度は合併70周年に当たります。これを記念して抗送料の大胆な島民割引をする時機到来かと思えます。苦節31年間の加計呂麻島地域島民の願いを叶えてください。宜しくお願い致します。

通告5 質問者：永井しずの 議員

1. せとラジの現況について【町長】

(1) 今年の6月末まで放送休止期間となっていますが今後の見通しを伺います。

2. 国道58号線沿いのトイレ事情について【町長】

(1) 以前にも議会にて質問し、3月議会において同僚議員が質問していましたが奄美市から住用過ぎるとトイレがありません、その後、検討されたか伺います。

3. 本島側以外の地域医療について【町長】

(1) 加計呂麻、請、与路島は台風などで救急艇やドクターヘリーの出動が不可能な場合の医療体制を伺います。

4. 町内の学校事情について【教育長】

(1) 生徒数が2、3人以下で次年度の入学が見込めない学校の対策は行われているか伺います。

(2) 町内の学校においてのいじめの認知件数を把握出来ているか伺います。

6月19日(木)午前9時30分～

通告6 質問者：栄 克 人 議員

1. ゴミのポイ捨て防止条例の制定について【町長】

瀬戸内町は豊かな自然と美しい海岸線に恵まれ、観光資源としても大変重要です。しかし近年、観光客や一部町民によるゴミのポイ捨てが見受けられ、地域住民からも環境への悪影響を懸念する声が上がっています。環境保全と町の美観、さらには観光価値を守るため、ポイ捨てに対する明確なルールと罰則を設ける「ポイ捨て防止条例」の制定を求めたいと考えています。

- (1) 町として現在、ポイ捨て防止にどのような対策を講じているかお伺いします。
- (2) 過去にポイ捨て条例の制定を検討したことはあるか。ある場合、その結果と理由をお伺いします。
- (3) 町民・観光客に対するポイ捨て行為への具体的な苦情や事例は報告されているかお伺いします。

2. 部活動等の遠征時に学校の公欠扱いについて【教育長】

瀬戸内町立の学校では、部活動が地域に根ざした教育活動として、生徒の心と体の健やかな成長や仲間とのつながり、競技力の向上に大切な役割を果たしています。

ですが、大会や遠征が平日に行われると、授業への影響や出席の取り扱いについて、学校・保護者・生徒の間で考え方に違いがあるというお声も耳にしております。

- (1) 瀬戸内町立の学校において、部活動等の大会・遠征時の出席扱いについて、公欠の基準はどのように定められているのかお伺いします。また、その基準は教職員・保護者・生徒にどのように周知されているのか、併せてお示ください
- (2) 公欠扱いに関して、学校ごとに運用に差が生じることは、生徒の公平性に影響を及ぼすおそれがあります。町教育委員会として、学校ごとの運用状況をどのように把握し、必要に応じて調整や支援などの対応をされているのか、お伺いします。

3. セとうちフクシフェスタ開催後の総括と今後の展望について【町長】

セとうちフクシフェスタが盛況のうちに開催されたことに対し、関係者の皆様のご尽力に敬意を表します。今回のイベントは、多くの町民や関係団体の参加を得て、地域福祉の啓発や交流の場として大変意義深いものとなったと考えております。

- (1) セとうちフクシフェスタの参加者数、来場者の満足度、イベント全体の成果について、町としてどのように評価されているのか、お伺いします。
- (2) 開催後に町民や関係者から寄せられた意見や要望について、町としてどのように把握し、整理されているのか。そして、それらの声を今後どのように生かしていくのか、お伺いします。
- (3) 今回の開催において、運営面や予算面、参加者対応、安全管理などで課題があった場合、今後どのような改善策を講じていくのか、お伺いします。
- (4) 次回以降の開催に向け、より多くの町民参加を促すための取組や、デジタル技術の活用、新たな企画の導入等について、町としてどのような方針をお持ちなのか、お伺いします。
- (5) セとうちフクシフェスタを通じて、地域における福祉意識の向上やネットワーク形成にどのような効果があったと町として考えているのか、また、その成果を地域福祉施策にどのようにつなげていくのか、お伺いします。

通告7 質問者:元井 直志 議員

1. 営農センターのあり方について【町長】

- (1) 現況を問う
- (2) 研修終了後の支援体制について問う

2. 防犯カメラの設置について【町長】

- (1) 町内の設置状況はどうか。
- (2) 各集落の出入口に防犯カメラの設置をしたらどうか。

3. 農家の補助について【町長】

- (1) 補助の現況を問う。
- (2) これからの支援体制について

4. 各集落に公衆トイレの設置を！【町長】

- (1) これからの方向は？
- (2) 年々整備していく必要があると考えるがどうか

6月19日(木)午後 1 時 30 分～

通告8 質問者:泰山 祐一 議員

1. 財政について【町長】

現在の財政運営が続いた場合の財政調整基金の推移および経常収支比率の将来見通しについて、町としての現時点の認識を伺うとともに、個別施設計画等を踏まえた今後 10 年間程度の財政収支シミュレーションを作成・公表し、町民や議会と共有していく必要性について、町の見解をお尋ねします。

2. ドローン事業について【町長】

- (1) 令和 7 年度第 1 回定例会で提出された監査報告書には、地方自治法等に抵触するおそれのある行為について、複数の指摘がありましたが、町としての法的見解をお示ください。また当件において、関係職員に対する処分の有無とその考え方についてお尋ねします。
- (2) 奄美アイランドドローン株式会社でドローンを飛行させる一回当たりの経費はいくらになるのかお尋ねします。
- (3) 奄美アイランドドローン株式会社の代表取締役、役員などの役員体制をお尋ねします。

3. 集会所について【町長・教育長】

- (1) 瀬戸内町集落集会施設等整備事業分担金徴収条例に基づく、現在の集会所新築事業における集落側の負担率と昨今の物価高騰等を踏まえて、今後集落負担率を見直されるお考えがあるかお尋ねします。
- (2) 現在、公共施設である各集落の集会所の窓口が教育委員会の社会教育課となっているが、
昨今の情勢を踏まえると総務企画課が担うべきと考えをお尋ねします。

4. 人口対策と脱炭素事業について【町長】

- (1) 令和 5 年 2 月付の「瀬戸内町ゼロカーボンシティ実現に向けた再エネ導入目標策定業務報告書」によれば、脱炭素シナリオに基づく町の将来人口は、2030 年に 9,000 人、2050 年に 1 万人を目指すとして記されています。
現在、5 か年計画の重点施策 11 事業のロードマップ 3 年目となったが、2030 年および 2050 年の脱炭素シナリオの人口目標達成に向けて、自然動態・社会動態別の年間あたりの人口目標値についてお尋ねします。
- (2) 温暖化対策や脱炭素事業の担当課が総務企画課と町民生活課の 2 つの課かと思いますが、総務企画課に集約し、事業の指揮をとられた方が良いと考えますが、見解をお尋ねします。

5. ラジオについて【町長】

令和 7 年度 3 月定例会において議会から提出した意見書や令和 7 年度の施政方針に記されているラジオについて再開に向けての進捗についてお尋ねします。

6. 高齢者支援について【町長】

瀬戸内町の「ちょこっとボランティア」事業について、埼玉県和光市の高齢者版ファミリーサポートセンター事業のように、専用の事務局を設け、高齢者からの依頼を協力会員へ仲介・マッチングする体制の導入を検討するお考えがあるかお尋ねします。